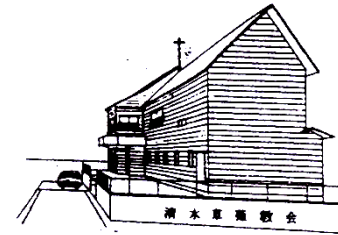


《今朝の聖書から》

“あなたはどなたですか”という問いを繰り返しているのは、ユダヤ人たちです。“あなたはどなたですか、わたしたちをつかわした人々に、答えを持って行けるようにしていただきたい(22節)”とあります。何を物語っているのでしょうか。おそらく、ヨハネの存在が大きな問題になっていたのでしょう。場所的には、ヨルダンのむこうのベタニヤであった(28節)と記されています。そんなに遠い場所ではありませんが、かなり公の“調査”のような趣きをもっていたことが判ります。ヨハネが授けている“水でバプテスマを授けること”は一体何なのか、私たちにも関心のあるところです。すこし先の35節を見ると、ヨハネには弟子があつて、ひとりでなかった事も判ります。バプテスマをめぐる信仰上の運動のようなものがあつたようです。多くの人々が、ヨハネから悔い改めのバプテスマを受けるために、やってきたようです。バプテスマという言葉自体、水で洗われ、身を洗うという意味ですから、当時の閉塞した社会情勢がうかがえます。ヨハネは“・・・でない”と20節、21節に2回、繰り返しています。世界全体が荒れ果てた荒野のような状況だったのでしょう。そしてこの“・・・でない”は、大きな“・・・である”に結び付けられています。23節にその“・・・である”が出てきます。ヨハネは“主の道をまっすぐにせよと荒野で呼ばわる者の声”だと答えます。我々はどうでしょうか。“・・・でない”というのがとても上手ではないでしょうか。“だめだ”とか“とは違う”、それで終わっていて、なにほどの希望も可能性も見いだせないことが実に多いのです。このクリスマスに“喜びはこれだ”と言えるものが見出せますように願いたいものです。ヨハネは、続く聖書の個所で“水ではなくて聖霊”ということを強調します。水で体を引き締めても罪を取り除くことはできません、ただイエス様の霊が“恵みとまことを、満ち満ちた力によって与えてくださるのだ(1:16~17)”ということを証しています。“その人こそは、御霊によってバプテスマを授ける方である(23節)”とヨハネはイエス様のことを証しています。その方は私たちの内におられるのです。26節に“あなたがたの知らないかたが、あなたがたの中に立っておられる”とあります。私たちが知らなくても、いくら“だめだ”と呟いて、どんどん暗い道を歩もうとしても、この方はすでに、私たちを贖い、救われた者として、導いてくださっていることを再発見しましょう。

週報

2007年 12月 16日



主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。

使徒行伝16:31

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

T 424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

牧師 村上定幸